

特別支援教育における
教育課程の編成・実施の
推進に向けた実際的研究

特別支援教育の 充実に向けた 教育課程編成

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

まえがき

平成18年6月の学校教育法等の改正で、これまで障害種別に設けられていた盲・聾・養護学校が、障害種別を超えた「特別支援学校」に改められるとともに、小・中学校等においても特別支援教育を推進することが明示されました。この法律は平成19年4月1日より施行され、平成19年度は、まさに特別支援教育元年といえます。この特別支援教育における教育課程の在り方等については、現在、中央教育審議会において学習指導要領の見直し等に向けての検討が進められています。

本研究は、中央教育審議会における審議の状況等も踏まえつつ、これまでの教育課程を整理し、特別支援学校としての教育課程の編成に向けた盲・聾・養護学校における教育課程編成の過程や工夫点等について、実際的な研究をまとめたものです。具体的には、学習指導要領の改訂等も視野に入れつつ、特別支援学校における教育課程編成の基本的な考え方や編成の工夫を分かりやすく解説し、各特別支援学校において新しい教育課程の円滑な編成・実施等に向けての参考となるガイドブックとして作成したものです。

第一部は、「特別支援教育と教育課程」として、特別支援教育の基本的な考え方や経緯、特別支援学校の制度と役割、小・中学校等における特別支援教育の概要等について解説するとともに、学校における教育課程編成の基本的な考え方と、これまでの盲・聾・養護学校における教育課程編成の工夫や配慮点について解説しています。

第二部では、「特別支援教育の教育課程編成Q&A」として、教育課程の編成・実施や個のニーズへの対応などについて分かりやすく説明しています。

第三部では、「教育課程編成の工夫－学校事例－」として、特色ある教育課程を編成・実施している盲・聾・養護学校の事例を紹介し、今後の特別支援学校における教育課程を編成・実施する際の参考資料としています。

各学校において、特別支援教育を充実するための教育課程の円滑な編成・実施等の参考として本研究報告書を大いに活用していただければ幸いです。

平成19年3月

プロジェクト研究代表者

独立行政法人国立特殊教育総合研究所

千 田 耕 基

プロジェクト研究（平成18年度）
特別支援教育における教育課程の編成・実施の推進に向けた実際的研究
研究実施体制

【研究代表者】

千田 耕基（教育支援研究部・上席総括研究員，教育支援研究部長）

【研究分担者】

徳永 豊（企画部・総括研究員）

萩元 良二（企画部・総括研究員）

原田 公人（教育支援研究部・総括研究員）

木村 宣孝（教育支援研究部・総括研究員）

當島 茂登（教育支援研究部・総括研究員）

中澤 恵江（教育支援研究部・総括研究員）

笹森 洋樹（教育支援研究部・総括研究員）

滝川 国芳（教育支援研究部・主任研究員）

齊藤由美子（教育支援研究部・研究員）

中村 均（教育研修情報部・上席総括研究員，教育研修情報部長）

渡邊 章（教育研修情報部・総括研究員）

大崎 博史（教育相談部・主任研究員）

【研究協力者】

大南 英明（帝京大学・教授）

香川 邦生（健康科学大学・教授）

辻 誠一（宮城県立角田養護学校・校長）

寺西 弘治（愛知県立名古屋聾学校・校長）

古川 勝也（長崎県立諫早養護学校・校長）

山本 昌邦（横浜国立大学・教授）

目次

まえがき

第一部 特別支援教育と教育課程

I 特別支援教育の概要	1
1 特別支援教育の理念と基本的な考え方	1
(1) 我が国の障害のある幼児児童生徒の教育をめぐる諸情勢の変化	
(2) 特別支援教育の理念と基本的な考え方	
2 特別支援学校の制度と役割	4
(1) 特別支援学校の制度	
(2) 特別支援学校の配置と名称等	
(3) センターの機能とその役割	
3 小・中学校等における特別支援教育	9
(1) 小・中学校等における特別支援教育の概要	
(2) 特別支援学級における教育	
(3) 通級による指導	
4 特別支援教育コーディネーターの役割	14
5 個別の教育支援計画と個別の指導計画	15
II 教育課程の編成の基本	17
1 教育課程編成の基本的な考え方	17
(1) 教育課程の意義	
(2) 教育課程に関する法制	
2 教育課程編成の手順	18
(1) 特別支援学校における教育課程編成の考え方	
(2) 教育課程編成の手順	
(3) 学校の教育目標の設定	
3 教育課程の評価と改善	20
(1) 教育課程の評価－観点と方法－	
(2) 教育課程の改善	
4 教育課程の編成と配慮事項	22
(1) 特別支援学校における教育課程の編成	
1) 盲学校における教育課程の編成	
2) 聾学校における教育課程の編成	
3) 知的障害養護学校における教育課程の編成	
4) 肢体不自由養護学校における教育課程の編成	

- 5) 病弱養護学校における教育課程の編成
 - 6) 重複障害者を対象とした教育課程の編成
 - 7) 教員を派遣して教育を行う場合（訪問教育）の教育課程の編成
- (2) 小・中学校における教育課程の編成

Ⅲ 今後の特別支援学校等における教育課程編成の在り方	34
1 教育課程の基準の改善に関する検討の経緯	34
2 特別支援学校制度の開始に向けた学習指導要領等の改訂	34
3 専門部会における検討状況	35

第二部 特別支援教育の教育課程編成Q & A

Q 1 特別支援学校になることの教育課程編成上のメリットはどのようなことでしょうか。	39
Q 2 障害のある児童生徒の一人一人のニーズに応じていくために、どのような教育課程編成の工夫が必要でしょうか。	40
Q 3 準ずる課程、自立活動を主とする課程等の「類型別」の教育課程編成を行う場合に、どのような配慮が必要でしょうか。	41
Q 4 重複障害のある児童生徒の教育課程の編成では、どのような配慮が必要でしょうか。	42
Q 5 訪問教育を充実させていくために、どのような教育課程上の配慮や工夫が必要でしょうか。	43
Q 6 自立活動の指導における個別の指導計画の作成や実際の指導で、配慮すべき点はどのようなことでしょうか。	44
Q 7 学校の教育課程と個々の子どもの個別の指導計画及び個別の教育支援計画との関係はどのようなものでしょうか。	45
Q 8 一貫性のある指導の充実を図る上で、個別の教育支援計画の策定における重要なポイントはどのようなことでしょうか。	46
Q 9 交流及び共同学習の教育活動を教育課程の編成に当たりどのように位置づければよいでしょうか。	47
Q 10 地域のさまざまな資源（人・機関等）を教育活動に取り入れていくために、どのような教育課程上の工夫や配慮が必要でしょうか。	48
Q 11 さまざまな専門性を持った教職員の協力体制を作るために、どのような工夫が必要でしょうか。また、教職員の専門性を向上させていくためには、どのような体制の整備が必要でしょうか。	49
Q 12 一人一人のニーズに応じた各教科等の指導計画、指導内容や方法の設定、授業展開を実現するために、何を大切に、どのような工夫や配慮がありますか。	50
Q 13 教育課程の評価は、どのように考え、どのように行っていけばよいでしょうか。	51

第三部 教育課程編成の工夫－学校事例－

I 確かな学力の育成を目指す教育課程編成の工夫

- 1 幼児児童生徒の障害の状態や学力の状況を踏まえた教育課程の編成
－広島県立盲学校－ …………… 53
- 2 学力の伸長を図る中高一貫した教育課程の編成
－東京都立中央ろう学校－ …………… 57

II 一人一人のニーズに応じた教育課程編成の工夫

- 1 自閉症等の多様な児童生徒に応じた教育課程の工夫
－岐阜県立大垣養護学校－ …………… 61
- 2 授業時数の制限や小中学校との転出入が頻繁にある学校の教育課程の編成
－大阪府立羽曳野養護学校－ …………… 65
- 3 個に応じた教育課程の編成・実践について
－茨城県立北茨城養護学校－ …………… 69
- 4 一人一人に応じるための教育課程編成の工夫
－岩手県立盛岡養護学校－ …………… 73

III 複数の障害に対応する教育課程編成の工夫

- 1 肢体不自由養護学校における障害の多様化への対応
－北海道網走養護学校－ …………… 77
- 2 児童生徒のニーズに応じた教育課程の編成と指導の工夫
－福井県立南越養護学校－ …………… 81
- 3 肢知併置校における多様な教育的ニーズに対応していくための取組
－岡山県立岡山東養護学校－ …………… 85
- 4 知的障害者と肢体不自由者が共に学び合える教育課程の編成
－鹿児島県立出水養護学校－ …………… 89

IV 就労に向けた教育課程編成の工夫

- 1 職業自立と豊かな人間性の育成を目指した教育課程の編成
－愛知県立半田養護学校桃花校舎－ …………… 93
- 2 企業等との連携を重視した職業教育の推進
－京都市立白河総合養護学校－ …………… 97

